

## 【家庭教育支援チーム】

### (1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	酒田市家庭教育支援チーム (呼称: 子どもの自立を支援する会 SR会 ) URL: <a href="https://sr-kai.hatenablog.com/">https://sr-kai.hatenablog.com/</a>
②活動拠点	酒田市交流ひろば ・ 酒田市総合文化センター
③活動範囲	山形県内全域
④組織体制	<u>4</u> 人 元教員2人 ・ 元医療従事者1人 ・ 介護福祉士1人
⑤活動開始年度	<u>平成31年度</u>
⑥問合せ先	(部署・氏名等) SR会事務局 ・ 中里 小枝 (TEL) 080-1816-3598 (E-mail) zap1113@beige.plala.or.jp

### (2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他( 子どもからのオンライン悩み相談窓口の設置 )
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子どもを持つ保護者及び子どもに対する活動を実施

<p><b>③活動内容</b></p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p><b>SR会の活動のねらいと目的</b></p> <p>子どもの自立・自活を目指し、子育てについて気になることや不安に思っていることについて気軽に話することができる環境づくりの提案活動を行うことを目的としている。障害や疾病ではないグレーゾーンにあり、不安を感じつつも声に出せない方たちの話し出すきっかけを作る場の提供と位置づけている。</p> <p>本活動を通じて、子育てに悩み、不安を抱える保護者・家族・関係者等に寄り添い、主に「傾聴活動」を展開することで、子育て応援の一助となると考える。</p> <p>さらに、今年度から子どもからのオンライン相談窓口を設置し、子どもが発信する声、悩みを聴き、子どもを取り巻く環境と課題に対応する。</p> <p><b>活動内容</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. メールやライン、個人面談による相談活動 ※他団体が主催している不登校相談に、相談員として月2回参加している。</li> <li>2. 講演会の開催(年間4回程度)</li> <li>3. 親子体験活動の開催(2021年度より年2回)</li> <li>4. 子どものからのオンライン相談窓口の設置</li> <li>5. その他 ボランティア交流会・引きこもり講座・他施設見学・補助金申請講座等への参加</li> </ol>
<p><b>④活動の成果</b> (活動実績がある場合)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. メールやライン、個人面談による相談活動 <b>資料1</b> 2019年度・・・2名 2020年度・・・5名 2021年度・・・6名 2022年度・・・8名 ※他団体が主催している不登校相談に、相談員として月2回参加している。</li> <li>2. 講演会の開催(年間4回程度) 計15回 <b>資料2</b> 2019年度・・・3回 2020年度・・・3回 2021年度・・・5回 2022年度・・・4回(内1回は2023年2月26日実施予定を含む)</li> <li>3. 親子体験活動の開催(2021年度より年2回) <b>資料1</b></li> <li>4. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度より、酒田市公益活動協働提案事業に採択され(<b>資料3</b>)、広報活動の範囲が広がるとともに、他団体との連携をとることができるようになった。</li> <li>・広報活動の範囲が広がったことで、県内各地から講演会へ参加してくれるようになった。</li> <li>・2022年度、山新放送愛の事業団より福祉援助・助成を受ける。<b>資料4</b> (ノートパソコン1台、プリンター1台)</li> <li>・本会の活動が認知されたことにより、特定非営利活動法人やまがた絆の架け橋ネットワーク発行の「活躍」(NPOを紹介する冊子)に記事が掲載された。<b>資料5</b></li> </ul> </li> </ol>

<b>⑤活動財源</b>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>(2020年度、2021年度 公益信託荘内銀行ふるさと創造基金より、 2022年度、酒田市公益団体協働負担金制度より助成を受けている)</p>
--------------	--